



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2013-2014

Rotary

International

District

No.13



ガバナー 山崎 堅輔

事務局：〒959-2627

新潟県胎内市野中 490-3 新和ヒルズ 2F

TEL0254-28-8822 FAX0254-28-8826

E-mail:k.yamazaki@rid2560niigata.jp



CONTENTS

表紙ページ.....	1
ガバナーメッセージ.....	2
地区幹事メッセージ.....	3
地区財務委員メッセージ.....	4
各分区ガバナー補佐メッセージ.....	5
各地区委員長メッセージ.....	12
「山の会」高坪山 登山報告.....	22
ロータリー財団・米山奨学分区別一覧.....	23
山崎年度地区主要行事.....	24
第 2560 地区 2013-2014 年度 6 月末 会員数および出席報告.....	25
裏ページ.....	26



ガバナー年度を振り返って

国際ロータリー第 2560 地区

2013 - 2014 年度

ガバナー 山崎 堅輔 (中条 RC)

会長幹事の皆様、ならびに地区内全てのロータリアンの皆様、この一年間も本当にお世話になりました、ありがとう御座いました。

顧みますと、ガバナー業務はノミニーから始まり、エレクトの準備期間を経てガバナーに就任した訳ですが、ノミニー期の国際大会(タイ・バンコク)に参加することで認証されたとは言え、国内では別段に就任式をやる訳でもなく、6月30日と7月1日の日付変更を境にして、その動きが大きく変わってしまうことに、何か不思議なものを感じました。

また、ガバナー就任に際し、何をどのように準備すべきなのかよく解らないまま、心の準備もままならず、時間の経過は冷酷なものでした。

そして、ガバナー公式訪問に際しては、お送り頂きました現況報告書を訪問前夜にも通読し、就寝が午前0時から1時になってしまうことが常でした。

正に無我夢中と言うのでしょうか、その所為で瞬く間に公式訪問や地区大会が終わってしまった様な感じが致しました。

手続要覧に依れば、『ガバナーは RI 理事会の一般的監督の下に職務を行う、その地区に於ける RI の役員である。ガバナーは、地区内のクラブを啓発し、意欲を与えること、また地区内の継続性を確保することにより、地区内のクラブを指導し支援する。』となっており、果たして求められた任務を全うし得たのか、疑問の残る所ではありますが、能力の無さと加齢の所為もあり、お許しを願いたいと存じます。

この様なガバナーに対し、公式訪問や IM に於いては崇高な儀礼を以って対応して頂き、深く感謝申し上げます次第でございます。更には公式訪問に際して、各分区のガバナー補佐の皆様には細部に至るまでご高配を頂き、改めまして厚く御礼を申し上げます。

そして、年度終了間際の6月28日には“山崎年度 感謝の集い”を開催させて頂き、パストガバナー、三年度三役、ガバナー補佐、地区委員会、クラブ会長の皆様ならびにスタッフの皆様へ、改めて深謝申し上げます。

また、この原稿が掲載される頃には、既に佐々木年度はスタートされて居られますが、佐々木ガバナーに於かれましては、呉々も健康に留意され、初期目的を達成されます様、ご祈念申し上げます、カバナーの職務を終えさせて頂きます。有難うございました。



山崎年度の終了に際して

2013・2014年度

地区幹事 時田 政義（中条RC）

過ぎてみれば、正に“光陰矢の如し”であった。

ことのはじめは、ノミニー時代のクリスマスイブに、当時の山崎ガバナーノミニーから「地区幹事をやって欲しい」とのクリスマスプレゼント？があり、この時はロータリーに入会して未だ1年10ヶ月経ったところで、「地区幹事って何ですか？」の鳩豆状態であった。そして正月が過ぎ、「やっぱり、貴方しか居ないので・・・」と再説得されて、何が何だか判らないまま、地区幹事をお引受することになった。

それからは、当時の第1分区AGで在られた川崎 久様（村上RC）から全面的なアドバイスを受け、ホストクラブである中条RCの諸先輩と推進委員会を設けながら、且つPDGの皆様からも暫時的確なご指導を仰ぎ得て、組織化、基本方針設定などをサポート展開することが出来た。

また、ガバナースタッフならびに四大大会の推進実行委員会メンバーには、第1分区を挙げてご協力を頂いた。ここで改めてご協力頂きました皆様へ心から厚く御礼を申し上げます。

そしてまた、ガバナー事務局員の選定には少々苦慮したが、ある方から英語力やPC操作能力に加え、心豊かな素晴らしい3名の人達を紹介されたのは本当にラッキーであり、楽しく業務展開を進める事が出来た。

地区活動内容について、前年度踏襲を批判する声もあったが、『第2560地区の古き良き伝統を守り、変えるべきは変える』というガバナー基本姿勢の基、全力で突き進んで来た。よく「古き良き伝統って何か？」と聞かれる事があるが、顕著なものは①パストガバナーの皆様をアドバイザーとして諮問委員会などを通じて地区運営のご相談対応を頂いている事、②三年度三役懇談会（DG・DGE・DGN各年度の三役）を通じて、地区運営のご相談対応ならびに問題の経過観測が出来ていることなど、これらは最早第2560地区のロータリー文化とも言える。また、①②について「決定機関ではない」と主張される方も居られるが、言わずもがな定款細則に基づく行動をしている。次に、「変えるべきは変える」であるが、種々の改善提案を提出して、同意を得られたものは変更し推進することが出来た。

そして、地区協議会の内容の改変や地区大会の2会場ライブ中継化などに苦心したが、多くのPDGの皆様から温かいご支援を頂いた。改めてPDGの皆様へ感謝申し上げます。

最後に、ロータリーを实践し、旨く佐々木年度へバトンタッチして行きたいと考えている。重ねて、山崎年度を支えて頂きました関係の皆様へ、心から厚く御礼を申し上げます。



山崎年度を振り返って

2013 - 2014 年度

地区財務委員 須貝 八栄 (中条RC)

アツという間の、1年間でした。

地区の事など何も経験もない、知らない自分が地区財務委員と言う重責を担う事になり、当初は心痛の日々でも有りましたが、とにかく教えを受けながら無我夢中でスタートした様に記憶いたしております。

第一分区の皆様はじめ、ガバナー補佐の方々、委員会の委員長はじめ委員の方々、各実行委員会の方々、そしてホームクラブのご協力に深く感謝申し上げます。また、地区事務員さんには、慣れないロータリー地区事務を日々努力して協力頂いたことに合わせて感謝致します。

地区事務所は、個々のクラブから運営資金を頂いて運営されておることはご承知の通りです。活動方針や支出基準にのっとり支出してまいりました。3年度3役会議も都度開催され、エレクト、ノミニーとの意思疎通がスムーズに出来たように思っております。又、財務担当者会議も開催し、予算、決算様式を見直しし、佐々木年度より運用されることとなりました。これからも、3年度3役会議や財務担当者会議は運営上たいへん有意義であり、今後も続けていってほしいと思います。地区事務所の固定化も以前より話として出ておりますが、地区事務所運営を考えれば、固定化した方が事務の効率が上がると思われます。しかし、何事も メリット、デメリットがありまして一概に決めかねているのが現状ではないかと思っております。検討委員会等で時間をかけて論議していくことが重要であるように感じております。

最後に、ロータリアンのご協力に感謝申し上げ、また、佐々木年度のスタートをお祝い申し上げますと共に、ご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

貴重な一年をありがとう！

2013 - 2014 年度 第 1 分区ガバナー補佐
兼 国際大会参加推進委員長
桑原 明（新発田城南RC）

時は2年前のロータリー歴35年目。 只々歳月を過ぎていた私が、RI第2560地区山崎ガバナー輩出分区と同一の第1分区の重責あるガバナー補佐の委嘱を戸惑いながらお引き受けをして、補佐研修では準備7割、本チャン3割と教わり、その甲斐あってあっという間に過ぎた2年間でした。

担当9クラブの年に4回の定例訪問・ガバナー公式訪問・IMでは地区内初の試みとしてRLI方式の研修デモの開催・数回の会長幹事会・各種資料作成提供等・・・曲がりなりにも当初の目標を何とか達成できましたのも、一重に山崎ガバナーのご指導と各クラブ会長・幹事・会員の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝を申し上げます。

クラブ訪問では、いつも温かい好意と友情に迎えられ、非常に好感を抱きながら訪問することができました。一番の印象は、それぞれのクラブがロータリー理念の下、一丸となって地域と密着しながら多種多様な想いやりの奉仕活動や、楽しいロータリー活動をRI会長ロンD・バートン氏のテーマ通りの【ロータリーを実践】されておりますことに改めて感銘を受け、補佐業務の中で多くのことを学び得た事です。

補佐という期間の中で、山崎 堅輔ガバナーをはじめ分区内21名増強の期末**358名**の多くの会員の方々と友情を分かち合う機会にめぐり合えた事は、私にとりまして何物にも変えがたい貴重な経験であり生涯の宝物でありました。

貴重な1年をありがとうございました。

一年を振り返って

2013 - 2014 年度 第2 分区ガバナー補佐
新保 清久（新潟万代RC）

一年間にわたりガバナー補佐として分区内9クラブを何度か訪問しました。
新潟市内の会員はもとより、佐渡、佐渡南クラブの会員とも交流することが出来て、
佐渡ヶ島や佐渡の人（男）が身近に感じられるようになりました。

またクラブ運営の仕方や会員増強の面でも大いに勉強になりました。
ガバナー訪問やIMでは、各クラブが、多方面にわたり有益な奉仕活動を地道に継続して
取り組んでいることも知りました。

どの例会もユーモアあふれる会長挨拶から始まり、まさに会員が居心地の良いクラブラ
イフを送っている様子を拝見いたしました。少人数クラブでは、高齢化と会員減少の悩み
がある一方で、会員のロータリーについての熱き思いを知ることが出来ました。

6月1日にシドニーのロータリー国際大会に出席してきました。
当日の早朝に開催されました日本人朝食会では、田中 作次パスト RI 会長始め、次年度
RI 会長や RI の役員が出席して挨拶をされました。

式典の会場は、日本人の2400名を始め、世界中から何万人ものロータリアンの参加者で
溢れ、式典は、午前と午後の二部に分けての盛大なセレモニーでした。
最後になりますが、皆様のご支援、ご協力によりガバナー補佐を無事終了することが出来
ました。心より感謝申し上げます。

第2 分区のクラブ及び会員の皆様の益々のご健勝、ご発展を祈念しまして御礼とさせて
いただきます。



新潟北 RC 歓迎の歌



佐渡 RC 訪問



シドニー国際大会

山崎年度を振り返って

2013 - 2014 年度 第3 分区ガバナー補佐
草野 満（新津中央RC）

私のところの第3 分区は、6 クラブ会員120 名の子世帯の分区です。

各クラブ訪問の際は、とても歓迎頂きまして、大変感激いたしました。訪問いたしまして感じたことは、各クラブ員の年齢が高齢化していることです。このままでいきますと3～5 年の間に会員の3 割は減少し、クラブが維持できるかの瀬戸際に至るクラブが出てくるものと思われます。今から30 代から50 代の会社員の増強を、会員全員で危機感をもって取り組む時です。

私は今回、山崎ガバナー年度に補佐という大役を受け、大変勉強になり、又、ガバナーにはお世話になりました。補佐の皆さん、今後ともよろしくお願ひします。



山崎年度 感謝の集いにて

山崎ガバナーとガバナー補佐の皆様と



ガバナー補佐 一年を振り返って

2013・2014年度 第4分区ガバナー補佐
鈴木 守男（三条東RC）

「ガバナー補佐」を拝命して、あっという間の1年でありました。

山崎ガバナーを「補佐」するどころか、足を引っ張っていたのではないかとの反省の日々です。その要因は過去において、ロータリーの上層だけなぞらって、ロータリーの本質を真剣に求めようとしなかったことにあります。補佐を拝命し、山崎ガバナーの下で努めさせていただけただけは幸せでした。ガバナーはいつも真摯な態度、言動で物事に対処されておりました。勝手に、我が人生の師、と思っております。

この1年間で大きな思い出は2つあります。第1は、「IM」です。テーマの「会員増強・退会防止」は、IMのテーマとしては過去になかったそうですが、第4分区11クラブにとっては避けて通れません。真正面から取り上げ、真剣に考え、議論する必要がありました。結果、5月末現在で17人の純増となりました。

第2は、周年行事であります。分水クラブは40周年、田上あじさいクラブは20周年でした。分水クラブは次の50周年に向け、大きな基盤を固めました。

田上あじさいクラブは地区で最少6人の会員数で開催が危惧されましたが、まさに手作りの式典をみごとに挙行されました。田上の地にロータリーの旗を高々と掲げて行く、という意気込みに感動いたしました。

11クラブの会長、幹事さんに大変お世話になりました。心より感謝申し上げます、退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

山崎年度ガバナー補佐 1 年を終えて

2013 - 2014 年度 第5分区ガバナー補佐
小林 勇（柏崎中央RC）

何分若輩者で任が重く、ロータリーの友情に助けられながら一年間努めさせていただきました。具体的には分区内7クラブに公式訪問含め3回訪問、9月7日IMの開催、4月24日第5分区新旧会長幹事会、5月13日長岡4クラブの合同例会にて、光栄にも田中 作次 様とお会いする機会を得ました。IMの開催では若手中心に楽しい会をさせていただき、大変ではありますが、ホームクラブの活性化にもなりました。また分区というのは集合体ですので、ルールがあるようで無いに等しい面があります。そこで4月24日分区会議では私の強い希望もあり、現時点に於ける提案を3つ採択させていただきました。

1. 第5分区は今まで通り創立年順の輪番制によりガバナー補佐を輩出する
2. ガバナー補佐エレクト輩出クラブは年度がスタートしたら7月末日を目安にその人選する
3. IMは会員大会前のいわば「分区祭り」として他の6クラブを盛大に我が地域へお迎えするという3点です。また他分区の同期ガバナー補佐様との交流も大変楽しく素晴らしい1年でもありました。各クラブ様、またスタッフの皆様に心より感謝申し上げます。



生涯の思い出

2013 - 2014 年度 第6分区ガバナー補佐
横山 紀雄（越後魚沼RC）

補佐のできない補佐役で、申し訳なく情けなく、今更ながら反省しきりです。それでも時間的には、いろいろ土日祭日に重なったり、各集会・例会に出席したりで「ロータリー離婚になるよ」と孫達に冷やかされる始末。なんの、ガバナー殿に比べれば、ほんの取るに足りないことなんだがねえ。

山崎ガバナーのお人柄。よき先輩で師と仰ぎ、兄と慕って図々しくも仲間・真友と勝手に惚れ込んでいます。そのお人柄のなせることか、幹事はじめ役員・事務局皆様ベテランのようで、お一人おひとりが、また連携も立派で、爪のアカでもいただきたい程です。

任期中残念なこと。次期クラブ幹事を承知されていた清塚 茂則君の急逝です。面倒見がよく、会員増強にもクラブ運営にも積極的、奨学生には親身に寄り添い『シャンソンの夕べ』は第1回会長の‘08年(H20)から、企画実行の主役となり、今回7回目を数え、奇しくも6月22日は初めての月命日。ご冥福をお祈りします。

そのような状況のなか、素晴らしい歌声と選曲と、ピアノの会場に向け、遠路わざわざ山崎ガバナーご夫妻、分区内の役員・多数のメンバー、そして悲しみの中、奥方と友人・近隣の皆様においでいただき、盛会裏に幕となりました。そのやさしい遺影も一層喜んでいられるように見えました。ただ私はといえば、美声と旨酒に酔いしれてしまい……!?

本当に、永くも短い1年でした。ガバナーご夫妻ご一統様、お元気でますますのご健勝ご多幸をお祈りします。また補佐の6人様各分区の皆様には、お詫びと共に感謝し、離任のことばといたします。ありがとうございました。

ガバナー補佐を体験し、思いは後悔から感謝へ

2013・2014年度 第7分区ガバナー補佐
馬場 兼一（越後春日山RC）

山崎年度 第7分区ガバナー補佐を受諾したのが一昨年5月の大型連休明け、その日から長い長い2年間が始まりました。

しかし過ぎてみればあっという間。でもこれは今だから言えること、実際は不安の毎日でした。ガバナー公式訪問、IM・・・、大きな行事の度に大勢のロータリアンから協力をさせていただき感謝しています。

クラブ訪問の際、私はクラブが計画した運営方針を実行するには活動しやすい環境が不可欠。それには女性会員の勧誘に力を入れ、女性の新たな視点でクラブを見直すことも一案と言ってきました。しかし一方でこの提案が後々後悔するようなことに成りはしないかという不安な一面も無い訳ではありませんでした。

後悔といえば、私は当初ガバナー補佐を受諾したことを非常に後悔していました。でも反対にガバナー補佐を受諾していなかったら本当に今後悔しなかったのか。人には二通りの後悔の仕方があると言われていています。ひとつは「ああすればよかった」という後悔。もうひとつは「どうしてあんな事をしたのだろう」という後悔。

仮にガバナー補佐を受諾しないで別の選択をしていたら、今頃「あの時ガバナー補佐を受けておけばよかった」と、まるっきり反対の後悔しているのでは・・・そんな気がします。

私はガバナー補佐を体験できたことは己を磨くチャンスを与えて貰ったと感じています。そして今、自身の思いが「後悔」から「感謝」に変わったことを報告して終りにします。1年間有り難うございました。

未来の夢計画初年度を終えて

2012・2014年度 ロータリー財団委員会
副委員長 野沢 正信（新潟北RC）

今から4年前 東山年度で初めて未来の夢計画が発表され、東京での財団地域セミナーに出席した私の頭の中でロータリー財団の未来の夢計画がスタートした年でもありました。

セミナーで聞く新しい言葉に戸惑いを感じながら、セミナーに出席した人は後で報告義務があると云われ、ボイスレコーダーを用意して聞き逃すまいと、必死に書き留めたことを今でも鮮明に覚えています。

2017年ロータリー財団は100周年を迎えます。この100周年を迎えるにあたって、ロータリー財団を見直し、時代のニーズに合ったものに変えていこうとしたのが財団の未来の夢計画だったのです。そこでまず感じたことは、今までは財団本部がかかわり地区は申請を上げ承認をもらう上位下達的方式が長らく定着していただけに、今後地区が主体的になって計画、申請、承認事項を行わなければならない、今までの方式に慣れた私達は本当にうまくいくのかと危惧していました。

3年という施行までの期間を頂き、2010～11年より100地区がパイロット地区に選ばれ、日本からも6地区がパイロット地区に選ばれ、その他の地区は夢計画導入に向けて準備をすることでした。当地区でも、地区内クラブへ情報提供、地区協議会、財団セミナー、財団月間等あらゆる機会をとらえて外部講師を呼び、地区委員共々「未来の夢計画」とはどのようなもので、地区とクラブの役割等の広報活動を推進してまいりました。しかしながら 石本年度においても未だ時間的に切迫感が気薄で、実際に動き出したのが鈴木年度に入ってからでした。夢計画を推進する財団委員会の組織作り、新地区補助金、グローバル補助金の仕組みの手引き作り、クラブと地区が準備しなければならないこと等、財団委員の皆さんに連日多大なご協力を頂き、他地区の資料等を参考にして鈴木年度後半にようやく間に合ったというのが現実でした。しかし地区補助金が新地区補助金に代わり、クラブから申請された補助金に於いては、なかなか新地区補助金の内容が理解されず補助金委員長は非常に難儀しご苦勞を掛けた次第です。また 申請手続きもオンライン申請に変わり18クラブから申請のあった補助金をまとめて頂いたことに感謝しております。

同様に奨学金、グローバル補助金を担当した委員の皆さんにも補助金制度の変革に大変尽力頂いたこと、財団委員全員が力を結集し山崎年度から始まった未来の夢計画を推進し、地区補助金、グローバル補助金等で成果を挙げることが出来ました。申請クラブ各位並びにサポートして頂いたガバナー事務所スタッフに御礼申し上げます。

未来の夢計画1年目を振り返るにつけ、ようやく各クラブに自分達が集めたお金を有効に使い、地区内で良いことをしようという機運が生まれ、少額の負担で大きな事業が出来るメリットを感じてもらえたことは、夢計画2年目の佐々木年度にうまく引継ぎが出来たのではと思っています。

今後の地区財団委員会の役割は、地区補助金を多くのクラブに活用して頂き、地区を大いに活性化して頂くために、さらなる広報活動に努め、より良い補助金の活用を支援することではないかと思っています。

1年を振り返って

2013・2014年度 米山記念奨学委員長
大橋 義弘（新潟北RC）

山崎年度の受入奨学生は、21名（7か国、8大学）でした。

米山奨学委員会では、奨学生の選考会、カウンセラー研修会、米山奨学生オリエンテーション・歓迎会、委員長セミナー（2回）、親睦交流会、学友会総会、大学担当者向け米山制度説明会、米山奨学生終了式・歓送会などの行事を実施しました。

3月1日に万代シルバーホテルにて奨学生の終了式・歓送会が執り行われました。奨学生とロータリーそしてカウンセラーとのお別れの時が来ました。長くて短い時間があったという間に過ぎてしまい、奨学生とカウンセラーのお別れです。わずかな期間ですが、カウンセラーは日本の父母です。そして奨学生は子供です。お互いが理解し合える様になり、このような交流がお互いを刺激し合う関係こそが、この事業の特長です。

世話クラブ、そしてカウンセラー、奨学生との関係が交流を深め、彼らの日本での生活が心豊かになるように配慮します。奨学生はロータリアンとの交流を通じて奉仕の精神に触れ、自らの精神を磨き、社会に貢献することを覚えます。また、ロータリアンにとっても金銭的支援だけでは得られない感動と米山奨学事業への深い理解が生まれます。

どんな奨学生に育ってくれたか？育てたか？

—————これが米山奨学事業です。

最後になりますが、寄付増進に努めていただきました各クラブ会長及び米山奨学委員長にはもちろんのこと、ご寄付をいただきましたロータリアンの皆様に感謝申し上げます。

これからも皆様のご協力をお願い申し上げます。

一年の活動を振り返って

2013 - 2014 年度 青少年奉仕委員長
小山 直樹（白根RC）

今年1年間の活動を振り返ってみますと、インターアクト委員会・ローターアクト委員会・ライラ委員会の各委員長に於かれましては、さすがに3年目とられましたので青少年奉仕をよく理解され思い入れも強く、ひじょうに熱心に活動をしてこられました。私もローターアクト委員から始まり、6年間青少年奉仕の地区役としてお世話になりましたが、特にこの1年間はインターアクト・ローターアクト・ライラとそれぞれの行事に於いて完成度も高く、青少年関連の各委員長の思いの強さを感じられました。

この1年間、青少年奉仕委員会の皆さんに支えられ、そして山崎ガバナー、時田地区幹事をはじめ、地区の役員の方々とロータリアンの皆さんに大変お世話になりました。無事に青少年奉仕委員長を務めさせていただくことが出来ましたことに心から感謝を申し上げます。

ありがとうございました。



1年間の所感

2013 - 2014 年度 インターアクト委員長
高橋 正明（新発田中央RC）

2560 地区青少年奉仕委員会は「3年間の委員」だと、新発田中央ロータリークラブから命ぜられ、経験豊富な委員会のメンバーの話を聞くうちに、3年後 2560 地区インターアクト委員会の全責任者になる、と気が付いた時は副委員長になった2年目の頃でした。

インターアクト年次大会は、月岡温泉ホテル冠月のご好意もあり、1ヶ所で開催でき、「楽しく学び、礼儀正しく」年次大会を進行できたことは、大きな成果であり、新発田中央高校インターアクトクラブも大きな達成感を感じることができたと思います。神戸で開催された第2回インターアクト全国研究会への参加などから、インターアクト活動とロータアクト活動の連携が、今後のロータリー活動にどれだけ重要な、を知ることができました。年度最後の大事業は22年間継続している、2560・2840 地区合同台湾研修交流会でした。インターアクトの国際交流事業として今後も継続、そして発展させることが 2560 地区ロータリークラブの重要な使命であると感じることができました。以上をもちまして、インターアクト活動にご協力いただきました皆様方に深く感謝申し上げ、「1年間の所感」とさせていただきます。



1年間の所感

2013・2014年度 ローターアクト委員長
原 信博（長岡東RC）

2013-14年度 ローターアクト委員長を拝命しまして、あっという間に1年が過ぎました。

今年度は如澤清嵩代表のもと、分区を廃して、コンパクトな地区運営、12クラブの活動の活発化、会員増強を目指しました。組織における目に見えた大きな変化は起こせなかったかもしれませんが、アクトメンバーひとりひとりの成長を感じることでできることができました。また私自身アクトメンバーの明るさに支えられ、励まされた中で楽しく活動ができました。ロータリーにおける青少年奉仕は新世代をはぐくみ、育てることにあります。ややもするとロータリーはローターアクトを指導すると思ってしまうがちですが、環境をつくり、見守ることがロータリーの役割であると再認識させられております。そして、自らつかんだ気づきを認めてあげて、ともに喜んであげることで新世代は大きく成長していくのだと思います。今後のローターアクト活動がますます発展していくように、今後もできる限りの協力をしていく所存です。つたない委員長ではありましたが、多くのロータリーの皆様よりご支援ご協力をいただきまして一年を全うすることができたことを心より感謝申し上げます。



1年間の所感

2013・2014年度 ライラ委員長
小林 英介（柏崎RC）

「環境とエネルギー」、電源立地地域である柏崎が、また国際社会の中で資源小国の日本が、抱える重要な課題です。「保全と消費」というトレードオフの関係を追求することは、若きリーダーにとって、複雑に多様化する現代社会を生き抜く知恵になると、私は考えました。平成25年10月5～6日、この柏崎らしい題材のもとに、2013-2014年度の国際RC第2560地区 RYLA研修を企画実施しました。

研修講師に国際環境経済研究所の竹内純子氏をお迎えし、「地域の資源・資産を知る 生かす 創る」を研修テーマに掲げ、基調講演、柏崎・夢の森公園での環境体験、柏崎刈羽原子力発電所の視察、グループディスカッション、成果発表を通じて RYLA 研修の目的と本質を追求したと自負します。

わずか二日間の RYLA 研修ではありましたが、参加された82名の研修生にとって、幅広い知見を得る機会となり、同時に地域づくりや仲間づくりのきっかけであったならば幸いです。ご協力いただきました皆様にこの場をお借りして御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

委員会活動一年を振り返って

2013 - 2014 年度 青少年交換委員長
倉茂 章（頸北RC）

地区青少年交換委員会の活動を通して、私は初めてロータリー活動の一端を経験させて頂いた様に思います。この1年、学生のケア、合計20回を超える会議、イベントの準備、海外相手地区との交渉、国際ロータリー（RI）やクラブへの対応、そして会計事務作業など1日24時間あっても時間が足りないほどの忙しい日々を過ごして参りました。

私の職業分類は歯科医師です。現役の開業医にとって1日の診療が終わるとヘトヘトに疲れております。しかし、診療終了後ロータリーの仕事を始めると不思議と元気になってくる自分に驚きを感じました。これは派遣学生、受入学生の成長する姿を目の当たりに出来る喜びから来るものだと思います。この委員会は「楽」ではないが「楽しい」委員会だと感じる瞬間でもありました。

この1年を通して、特に思い出深い出来事はドイツマルチ地区青少年交換委員会役員の Thomas Lieb 氏との出会いです。ドイツとの短期交換事業において当地区に対し献身的なご尽力を頂いたことに深いロータリーの友情を感じました。そして、この委員会活動を通じて、国内外に多くの友人、知人が出来たことは私の大きな財産となり、学生の成長と同時に私自身も大きく成長させて頂いた1年でした。

最後に、この1年間委員会を支えて頂きました委員会関係者の皆様、そして、各クラブの皆様に衷心より感謝を申し上げます。誠に有難うございました。



「独 YEC 役員 Thomas Lieb 氏」



「委員会役員と Thomas 氏」



「派遣学生・受入学生と全国会議出席」



「受入学生ナオミさんとスキー研修」

委員会活動一年間を振り返って

2013 - 2014 年度 国際奉仕委員長
山貝 勉（村上岩船RC）

国際奉仕委員会は、昨年7月に入り、国際奉仕フォーラムの準備の為、長岡まちなかキャンパスで打合わせ会を行い、8月4日に同会場で国際奉仕フォーラムを開催いたしました。県内各地より53名のロータリアンにお集まりいただきました。佐々木ガバナーエレクトにご挨拶いただき、国際奉仕委員会の前年度、及び当年度の報告、そして青少年交換委員会による“虐待とハラスメント予防”に関する地区およびクラブの方針という研修を行いました。約2時間程で終了し、会場を移して懇親会を行いました。国際奉仕委員会の事業はこれがメインで、無事に終了することができ安堵いたしました。

もう一つ、国際交流の為の姉妹クラブ、友好クラブの締結をしてくれるクラブを待っており、先日 佐渡南ロータリークラブが、台北原民ロータリークラブと友好クラブを締結しました。大変意義深くお祝い申し上げます。

又、ロータリー地域協働ネットワークセンターと青少年リスクマネジメント室委員会の両委員でもあり、数回の委員会にも出席させていただき勉強をさせていただきました。一年間ロータリーの皆様に大変お世話になり、感謝申し上げます。



社会奉仕委員会活動の反省

2013 - 2014 年度 社会奉仕委員長
五十嵐 弘行（水原RC）

本年度の委員会活動の基本方針は、前年度に発足した「ロータリー地域協働ネットワークセンター」の活動を理解し、山崎年度のスローガン「備えよう 大震災の心構えを」との連携を基本方針として活動することを念頭に置いてスタートいたしました。

2013年 2月 23日	「PETS」
3月 30日	「ロータリー協働ネットワークセンター事前検討会」
4月 13日	「地区協議会」
5月 26日	「防災セミナー」
8月 10日	「ネットワークセンターセミナー」
10月 13日	「危機管理セミナー」
11月 1日	「社会奉仕委員会」
11月 30日	「社会奉仕委員長セミナー」

等、研修の場合は多数あり納得したつもりであったが時間が経過するにつれて問題点が多く発生し、具体的な行動に及ばず、苦慮することが多くあり、普段の行動が如何に重要であることが身を以って会得致しました。実践訓練で得たことがより身に着くと思っ期待していたロータリー防災セミナーは、体調を崩して参加出来なかったことが残念でした。

各種セミナーで学んだ災害現場に遭遇した時の心得えとして

1. 対策本部
行動は自身が先頭に立ち、地域と一体になって行動する
2. 救助物資の仕分け
ロータリアンとして行政間の救援物資のコントロールを行う
3. 支援行動
出来ることなら行政、消防と連携を図りながら行動した方がスムーズに支援活動ができる
4. 地域との接点
災害時に円滑な支援活動ができるようにお互いの存在や活動状況を把握し、良い関係を作っておく必要がある。自治会、消防関係、ボランティアグループ等
5. 情報収集
交通、災害状況等

以上のことがこの一年取得できた概要です。各クラブに「ロータリー地域協働ネットワークセンター」の意義、活動等を今一つ普及できなかったことが心残りです。
鈴木センター長には大変お世話になりありがとうございました。

職業奉仕委員会報告

2013 - 2014 年度 職業奉仕委員長
小泉 茂（新発田中央RC）

『進めよう！職業奉仕の洗練化を！』 地区方針をどのように具体化してゆくかが、当委員会に与えられた命題でした。委員会では、洗練化するにも「職業奉仕」を理解することが必要であり、このことに造詣の深い方に教えを請う事が最初にすべき事であると一致し、講演会を企画する事と致しました。ガバナー・ガバナースタッフと協議の結果、深川 純一先生をお招きして、地区大会において職業奉仕セミナーを開催する事が出来ました。参加したロータリアンから、職業奉仕についてなかなか理解することができなかったが今日の講演で理解を深められた、また一緒に頂いた冊子もわかりやすく感謝します。と言っただけの事に感謝します。

昨年は、偽装という言葉がマスコミを賑わしました。目先の利益のみを求めた事が露見し、結果として失うものの大きさを知ることになりました。

職業倫理と関わる人々を思いやる心が、結果、継続と利益を生みだしてゆく。四つのテストを心にとめて、自らの職業を大切にする、取引先やお客様・働くスタッフや社員の笑顔を大切にする。ロータリーの職業奉仕とは、利益追求による拡大でも自己犠牲でもなく、共に生きる社会を目指すものだと思います。

力不足からの確な情報発信ができなかったことをお詫びして、職業奉仕委員会の報告と致しします。

クラブ奉仕委員会報告

2013 - 2014 年度 クラブ奉仕委員長
宍戸 由喜夫（村上RC）

山崎年度の最終号にこの一年の反省を込めて報告いたします。

思い返せば一昨年の暮れ、山崎ガバナーエレクトから「予定していた候補者に都合がつかず、お願いします。」とのお話があり、急遽引き受けざるを得ない状況になってしまいました。

昨年3月に開催された『会員増強セミナー』に出席して、常々「会員増強」が叫ばれている背景に国際ロータリーのゾーン変更もあり得る重大事項に繋がることを理解でき、大変な役を引き受けてしまったことを悔やみました。

結局、私自身は何もせずに一年が経過しました。山崎ガバナーの指導の下各ガバナー補佐の皆さんのアドバイスと、各クラブの努力の結果女性会員6名の増加を含む66名の純増となりました。純増10%の目標には届きませんでした。純増に感謝いたします。

各会員が、ロータリアンの誇りを持って楽しいクラブ運営を目指していただければきっと良い結果が得られるものと信じています。

山崎ガバナーの足手まといになったと思いますが貴重な勉強をさせていただきました。

この一年本当にありがとうございました。感謝。

ロータリー地域協働ネットワークセンター活動報告

2013・2014年度地域協働ネットワークセンター長
鈴木 重壺（長岡RC）

山崎年度の基本方針「地域と協働するロータリー」を具現するために、スローガンとして掲げた「備えよう！大震災の心構えを！」を基本に、連携する地区内の活動団体と情報を共有しながら以下の事業に取り組みました。

主な活動内容

1. 地域への貢献を拡大するために積極的に協働団体との連携強化を図りました。
2. 地区内ロータリアンの互助力・共助力を高める事を目的にセンターの立ち位置を広報しました。
3. 危機管理意識の啓発と行動力強化の推進。
 - ・いざの備えと安全を確保するため危機管理セミナーを開催
 - ・緊急時対応のリスト作成(資機材の提供・人的資源の確保・経済的な支援)
4. フィリピン台風被害による被災者復興支援
県内支援ボランティア団体と連携し復興支援を直接支援するために現地調査団の派遣を行いました。
5. 協働団体へ活動支援金を贈呈しました。(新潟いのちの電話・にいがた被害者支援センター)



10.13 セミナーの様子（長岡市きおくみらいセンター）

※危機管理セミナーでのアンケート結果

パネルディスカッションでは参加者の88%、ワークショップでは85%の皆様から満足した内容だったとの回答を頂きました。主な意見として

- ・災害時の現場状況が理解出来、センターの目的を良く理解した。
- ・知らなかった事を聞けて、理解を深められ目から鱗であった。
- ・参加者の意見に重みがあり、参加型の意見交換会の大切さを良く理解した。
- ・防滅災に対し自分のやるべき事を理解した。災害に対する意識UPの再認識した。

など、今後センターの活動を進める上で参考となる意見が多く寄せられました。

また、協働する各団体の皆様とは今後、具体的な活動連携に資する交流を積極的に進め、それらの実践を通じてロータリーの存在が広く地域に理解され、より信頼を寄せて頂ける努力が大切と感じました。皆様のご理解と協力に感謝いたします。

皆様のご理解と協力に感謝いたします。

2013～2014 年度 ロータリー「山の会」高坪山登山報告書

国際ロータリー2560 地区

「山の会」幹事 鹿嶋 和子（中条胎内RC）

木々の緑が一段と濃くなり始めた、2014 年 6 月 14 日(土曜日)の夕方、ロータリー「山の会」懇親会が、ロイヤル胎内パークホテルにて開催されました。今回で、23 回を数える「山の会」ですが、世界大会から戻られたばかりの、山崎ガバナーにも参加して頂きました。胎内温泉で日頃の疲れを癒して頂いた後、懇親会場では、新潟県の各地区から集まったロータリアンが集合。「昨年ぶり～、また今年も会えましたね」「ご無沙汰しています。スキー大会以来ですね～」と再会を喜び、賑やかに懇親会が始まりました。

ご参加頂いたメンバーの近況報告やクラブの話、仕事や関わっているロータリーの委員会の話しなど、話題は尽きません。一年に一度の懇親会は、下越の地酒が瞬間に飲み干され、深夜まで続きました。

翌 15 日(日曜日)は、朝食後、8 時に、高坪山登山口へバスで出発。

曇り空でしたが、ブナ林から吹く風は、汗だくの体に心地よく、頂上に着いて高坪の鐘をついた時は、ホッとしたものです。村上市(旧荒川町)の集落や荒川、日本海の眺めを暫し目に焼き付けてから、飯豊連峰の展望台広場まで、ひと頑張りです。

反射板が設置された展望台は、ロータリアンの昼食会場に変わりました。

村上牛やジンギスカン、山菜に笹団子。抹茶にコーヒー、冷たいビール。次々に、郷土の味が登場するもの「山の会」ならではの、この度の昼食は、山崎ガバナーより頂戴したお祝い金で賄う事が出来ました。有難く、感謝申し上げます。曇り空でしたから、飯豊連峰の展望は望めなかったけれど、爽やかな風が清々しく、山頂での昼食会は、皆さん大満足の様でした。

午後1時過ぎ、周回コースをゆっくり歩きながら、下山。ブナ林を通る風が、火照った身体を冷ましてくれます。健脚なメンバーには、歩き足りなかったでしょうか、早々と 下山してバスの時間まで、日蔭でお昼寝付き登山を楽しみました。

下山途中、木苺がたわわに実り、ほうばると口いっぱい、甘酸っぱい懐かしさがひろがり、久しぶりに子供に還った様でした。

ロイヤル胎内パークホテルに午後 3 時に到着。温泉で汗をながして、帰路に着きました。遠路「山の会」にご参加頂きました皆様、楽しく盛り上げて頂き今年度も無事に、登頂できました。有り難うございました。

また、山崎ガバナーはじめ、ガバナー事務所の皆様のご協力に感謝申し上げます、2013～2014 年度「山の会」高坪山登山の報告と致します。



ロータリー財団 米山奨学会 分區別一覽

分 区	クラブ名	ロータリー財団寄付					ロータリー米山記念奨学会寄付					一人当り 平均寄付額
		会員数 (13/07/01)	2013/07月1日～2014/6月30日			年次寄付総計 (＄)	会員数 (14/01/01)	普通寄付金 単価(年額)	2013/07月1日～2014/6月30日			
			APF目標額(＄)	達成率%	一人当たり(＄)				普通寄付金	特別寄付金	合計	
R 1 第 2 5 6 0 地 区	第1分區	345	33,472	147.23	142.85	49,281.54	348	☆	1,921,000	4,044,000	5,965,000	17,141
	第2分區	405	53,800	104.74	139.14	56,352.16	426	☆	1,669,000	6,643,620	8,312,620	19,513
	第3分區	138	8,851	111.08	71.25	9,831.90	134	☆	542,000	1,006,935	1,548,935	11,559
	第4分區	352	38,610	174.44	191.34	67,350.13	356	☆	1,455,000	4,889,000	6,344,000	17,820
	第5分區	300	17,600	205.12	120.34	36,100.51	301	☆	1,202,000	4,323,143	5,525,143	18,356
	第6分區	148	25,001	106.38	179.71	26,596.57	151	☆	696,750	1,562,000	2,258,750	14,959
	第7分區	300	30,800	105.80	108.62	32,586.22	303	☆	1,389,250	4,196,600	5,585,850	18,435
合計	1988	208,134	133.62	139.89	278,099.03	2,019		8,875,000	26,665,298	35,540,298	17,603	
第 1 分 区	新発田	85	8,600	131	132.67	11,277	86	10,000	855,000	885,000	1,740,000	20,232
	村上	32	3,500	277	303.23	9,703.23	33	4,000	130,000	384,000	514,000	15,575
	水原	26	2,800	93	100.00	2,600	26	4,000	104,000	350,000	454,000	17,461
	中条	31	3,100	275	275.17	8,530.21	32	4,000	124,000	494,000	618,000	19,312
	新発田城南	42	4,400	89	93.40	3,923	41	4,000	166,000	377,000	543,000	13,243
	豊栄	26	828	276	88.05	2,289.25	27	4,000	104,000	264,000	368,000	13,629
	新発田中央	50	4,944	106	105.00	5,250	50	5,000	250,000	650,000	900,000	18,000
	中条胎内	29	2,900	112	112.03	3,248.85	29	4,000	116,000	395,000	511,000	17,620
村上岩船	24	2,400	103	102.50	2,460	24	3,000	72,000	245,000	317,000	13,208	
第 2 分 区	新潟	83	9,300	116	130.11	10,799	93	4,000	332,000	833,620	1,165,620	12,533
	新潟東	53	16,000	36	109.39	5,797.90	55	4,000	212,000	610,000	822,000	14,945
	新潟南	85	8,500	163	162.88	13,844.70	92	4,000	340,000	1,410,000	1,750,000	19,021
	佐渡	12	1,300	92	100.00	1,200	12	4,000	48,000	216,000	264,000	22,000
	新潟西	32	4,300	126	169.56	5,425.90	33	4,000	128,000	432,000	560,000	16,969
	佐渡南	42	4,600	96	104.87	4,404.33	44	4,000	178,000	632,000	810,000	18,409
	新潟北	36	3,600	172	172.26	6,201.33	38	4,000	144,000	1,144,000	1,288,000	33,894
	新潟中央	23	2,300	117	117.48	2,702	22	4,000	92,000	543,000	635,000	28,863
新潟万代	39	3,900	153	153.26	5,977	37	5,000	195,000	823,000	1,018,000	27,513	
第 3 分 区	新津	25	2,500	40	40.39	1,009.80	24	4,000	98,000	121,000	219,000	9,125
	村松	9	351	101	39.22	352.98	9	4,000	36,000	0	36,000	4,000
	五泉	21	2,100	105	104.76	2,200	21	4,000	82,000	180,000	262,000	12,476
	白根	43	-	-	72.67	3,125	42	4,000	170,000	470,000	640,000	15,238
	新津中央	31	3,100	76	75.62	2,344.12	29	4,000	120,000	235,935	355,935	12,273
阿賀野川ライン	9	800	100	88.89	800	9	4,000	36,000	0	36,000	4,000	
第 4 分 区	三条	54	5,500	313	319.07	17,230	55	4,000	218,000	550,000	768,000	13,963
	燕	25	2,750	98	107.47	2,686.76	28	4,000	106,000	210,000	316,000	11,285
	加茂	31	3,200	84	87.10	2,700	31	4,000	124,000	240,000	364,000	11,741
	三条南	44	7,360	124	207.95	9,150	45	4,000	178,000	960,000	1,138,000	25,288
	分水	29	3,200	222	244.83	7,100	29	4,000	116,000	750,000	866,000	29,862
	見附	18	1,980	100	110.00	1,980	20	5,500	110,000	0	110,000	5,500
	吉田	33	3,300	202	201.73	6,657	33	4,000	132,000	350,000	482,000	14,606
	三条北	71	8,000	207	232.86	16,532.75	68	4,000	278,000	1,510,000	1,788,000	26,294
	巻	11	1,100	86	86.45	950.97	10	5,583	67,000	0	67,000	6,700
	田上あじさい	6	-	-	0.00	0	6	0	0	0	0	0
三条東	30	2,220	106	78.76	2,362.65	31	4,000	126,000	319,000	445,000	14,354	
第 5 分 区	長岡	37	4,400	95	113.51	4,200	39	4,000	152,000	672,000	824,000	21,128
	柏崎	47	-	-	128.20	6,025.50	46	4,000	186,000	350,000	536,000	11,652
	長岡東	63	6,500	111	114.02	7,183	64	4,000	254,000	1,377,643	1,631,643	25,494
	柏崎東	44	-	-	123.70	5,443.01	45	4,000	178,000	340,000	518,000	11,511
	栃尾	25	2,400	100	96.00	2,400	23	4,000	96,000	437,500	533,500	23,195
	長岡西	44	4,300	159	155.27	6,832	45	4,000	178,000	660,000	838,000	18,622
	柏崎中央	40	-	-	100.43	4,017	39	4,000	158,000	486,000	644,000	16,512
第 6 分 区	十日町	32	3,200	92	91.91	2,941.06	33	4,000	128,000	470,000	598,000	18,121
	小千谷	38	13,901	111	407.25	15,475.51	39	6,000	228,000	377,000	605,000	15,512
	雪国魚沼	21	2,100	100	100.00	2,100	21	5,000	105,000	105,000	210,000	10,000
	十日町北	22	2,200	100	100.00	2,200	22	4,000	88,000	330,000	418,000	19,000
	津南	24	2,400	92	91.67	2,200	24	4,000	96,000	280,000	376,000	15,666
越後魚沼	11	1,200	140	152.73	1,680	12	4,500	51,750	0	51,750	4,312	
第 7 分 区	高田	58	6,200	125	133.83	7,762.16	55	4,000	228,000	835,100	1,063,100	19,329
	直江津	37	4,000	143	154.43	5,713.73	41	8,750	341,250	452,000	793,250	19,347
	新井	28	3,100	97	107.14	3,000	31	4,000	120,000	588,000	708,000	22,838
	糸魚川	36	3,600	115	115.07	4,142.43	38	4,000	148,000	468,500	616,500	16,223
	妙高高原	4	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0
	高田東	37	3,700	103	102.86	3,805.89	39	4,000	154,000	464,000	618,000	15,846
	糸魚川中央	33	3,300	110	110.19	3,636.36	33	8,000	132,000	600,000	732,000	22,181
	頸北	15	1,700	92	104.73	1,571	15	4,000	60,000	285,000	345,000	23,000
	越後春日山	52	5,200	57	56.82	2,954.65	51	4,000	206,000	504,000	710,000	13,921
その他						0	0	8,000	0	8,000		
D2560												
合計	1988	208,134			278,099.03	2,019		8,883,000	26,665,298	35,548,298	17,606	

2013-14年度 地区主要行事予定 (山崎年度)

年月日		行事	会場	
2013年 (H.25)	7月	上旬	青少年交換委員会全国青少年交換委員長会議	東京
		1 (月)	ガバナー懇談会 RC財団地域セミナー	プリンスホテル高輪
		2 (火)	ロータリー財団セミナー	プリンスホテル高輪
		4 (木)	国際奉仕フォーラム打ち合わせ	まちなかキャンパス(長岡市)
		11 (木)	青少年交換委員会夏期交換ドイツ学生受け入れ	新潟空港
		14・15 (日)・(月)	インターアクト年次大会(ホストクラブ:新発田中央RC) 青少年交換委員会 夏期交換学生歓迎迎撃キャンプ	月岡ニューホテル冠月 妙高自然の家
		20 (土)	ロータリー財団定例ミーティング・懇親会	新潟万代シルバーホテル
	20・21 (土)・(日)	青少年交換委員会ドイツ学生東京研修	東京	
	31 (水)	青少年交換委員会夏期交換学生送迎会	ANAクラウンプラザホテル新潟	
	8月	会員増強および拡大月間		
		1 (木)	青少年交換委員会夏期交換 ドイツへ派遣	新潟空港
		4 (日)	国際奉仕フォーラム	まちなかキャンパス(長岡市)
		10 (土)	ロータリー財団奨学生選考試験・ロータリー財団定例ミーティング	新潟万代シルバーホテル
		22 (木)	青少年交換委員会夏期交換学生帰国	新潟空港
		24 (土)	第1回ロータリー財団セミナー	新潟万代シルバーホテル
		31 (土)	米山記念奨学生親睦交流会	六日町
	9月	新世代のための月間		
		7 (土)	第5分区IM(小林G補佐/柏崎中央RC)	メロポリタン松島(柏崎市)
		8 (日)	第2分区IM(新保G補佐/新潟万代RC)	ホテルオークラ新潟
		13 (金)	青少年交換委員会夏期・1年 帰国受入学生報告会	まちなかキャンパス(長岡市)
		14 (土)	大学担当者向け米山記念奨学制度説明会	チザンホテル&コフレックスセンター新潟
		15 (日)	第7分区IM(馬場G補佐/越後春日山RC)	ホテルハイマート(直江津)
		21 (土)	ロータリーアクトアジア第1ゾーン会議	チザンホテル&コフレックスセンター新潟
		28 (土)	第4分区IM(鈴木G補佐/三条東RC)	燕三条フントホテル(燕市)
	29 (日)	第1回米山記念奨学委員長セミナー	ANAクラウンプラザホテル新潟	
	10月	職業奉仕月間・米山月間		
		5・6 (土)・(日)	ライラ研修会(柏崎RC)	柏崎市民プラザ
		5 (土)	第3分区IM(草野G補佐/新潟中央RC)	一楽(新潟)
		6 (日)	第6分区IM(横山G補佐/越後魚沼RC)	魚沼市地域振興センター(魚沼市)
		10 (木)	山崎年度 地区大会記念親睦ゴルフ大会	日本海CC
		13 (日)	防災セミナー	まちなかキャンパス(長岡市)
26 (土)		ロータリー財団定例ミーティング・懇親会	新潟万代シルバーホテル	
11月	ロータリー財団月間			
	16 (土)	山崎年度 地区大会晩餐会	ロイヤル船内パークホテル	
	17 (日)	山崎年度 地区大会	ロイヤル船内パークホテル+中条グランドホテル	
	23 (土)	青少年交換委員会14~15年派遣学生選考試験・ROTEX会議	まちなかキャンパス(長岡市)	
12月	家族月間			
	1 (日)	ロータリー地域セミナー	ホテルグランパシフィック(東京)	
	3・4 (火)・(水)	ロータリー研究会	ホテルグランパシフィック DAIBA	
	7 (土)	地区指名委員会・諮問委員会・佐々木ガバナーエレクト渡米壮行会	中条グランドホテル	
	13 (金)	ロータリー財団定例ミーティング・懇親忘年会(1泊)	ひさご荘(月岡)	
	22 (日)	青少年交換委員会第1回青少年交換学生オリエンテーション・クリスマスパーティー	ANAクラウンプラザホテル新潟	
	23 (祝日)	インターアクト委員会 献血キャンペーン(上越地区・下越地区)		
26~28 (木~土)	インターアクト委員会 国際交流事業(スキー交流)	妙高杉ノ原スキー場		
2014年 (H.26)	1月	ロータリー理解推進月間		
		12~18 (日~土)	2014年度国際協議会	米国カルフォルニア州サンディエゴ
	2月	18 (土)	米山記念奨学生選考会	新潟万代シルバーホテル
		世界理解月間		
		1 (土)	佐々木年度 第1回 地区運営会議	JAおぢやグリーンパーク
	3月	8 (土)	第2回米山記念奨学委員長セミナー	ANAクラウンプラザホテル新潟
		22 (土)	佐々木年度 会長エレクト研修セミナー(PETS)	JAおぢやグリーンパーク
		識字率向上月間		
		1 (土)	米山記念奨学生終了式・歓送会	新潟万代シルバーホテル
		8 (土)	ロータリーアクト地区大会	ジオワールドVIP
		中旬	青少年交換委員会受入学生スキー体験	妙高市
	4月	20~23 (木~日)	インターアクト海外研修 (3泊4日)	中華民国(台北)
		23 (日)	青少年交換委員会第2回青少年交換学生オリエンテーション・新旧委員引継ぎ会議	まちなかキャンパス(長岡市)
		ロータリー雑誌月間		
		5 (土)	米山記念奨学委員会カウンセラー研修会	新潟万代シルバーホテル
		12 (土)	佐々木年度 地区研修・協議会	小千谷総合体育館・サンラックおぢや
		19 (土)	中条胎内RC 創立20周年記念	中条グランドホテル
		26 (土)	ロータリー財団 地区奨学生募集説明会	チザンホテル&コフレックスセンター新潟
	5月	27 (日)	田上あじさいRC 創立20周年	湯田上温泉ホテル小柳
		3~5 (土~月)	青少年交換委員会京都研修旅行	京都
10 (土)		分水RC創立40周年	分水公民館(燕市)	
17 (土)		米山記念奨学生オリエンテーション	ホテルオークラ新潟	
24・25 (土)・(日)		第19回 全日本青少年交換研究会福島会議	リステル猪苗代(福島県)	
6月	25 (日)	新発田中央RC創立20周年	華鳳(月岡温泉)	
	ロータリー親睦活動月間			
	1~4 (日~水)	RI国際大会	オーストラリア・シドニー	
	6・7 (土)・(日)	ロータリーアクト地区協議会	新潟メロサンピア	
	12 (木)	山崎年度 地区諮問委員会	ホテルオークラ「や彦」	
	15 (日)	青少年交換委員会第3回青少年交換学生オリエンテーション・派遣学生壮行会・受入学生お別れ会	ANAクラウンプラザホテル新潟	
6月	ロータリー財団 学友会総会			
	28 (土)	地区諮問委員会・山崎年度 感謝の集い	ホテルイタリヤ軒	

第2560地区 2013-14年度 6月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	6月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	／	88.21	345	355	37	10
新発田	5	98.33	85	89	0	4
村上	4	91.67	32	33	7	1
水原	4	73.80	26	26	1	0
中条	4	85.00	31	34	3	3
新発田城南	4	92.26	42	43	7	1
豊栄	4	87.96	26	26	3	0
新発田中央	4	90.19	50	51	5	1
中条胎内	4	84.49	29	27	5	-2
村上岩船	4	90.20	24	26	6	2
第2分区(9クラブ)	／	88.01	405	422	16	17
新潟	4	82.68	83	92	0	9
新潟東	4	91.31	53	55	5	2
新潟南	4	92.53	85	90	0	5
佐渡	4	77.00	12	9	0	-3
新潟西	4	83.33	32	32	1	0
佐渡南	4	96.41	42	42	4	0
新潟北	5	82.22	36	40	0	4
新潟中央	4	97.92	23	24	0	1
新潟万代	5	88.72	39	38	6	-1
第3分区(6クラブ)	／	81.56	138	131	8	-7
新津	4	70.83	25	22	1	-3
村松	4	80.00	9	9	0	0
五泉	4	88.75	21	20	3	-1
白根	4	86.62	43	43	2	0
新津中央	4	83.93	31	28	1	-3
阿賀野川ライン	3	79.20	9	9	1	0
第4分区(11クラブ)	／	81.48	352	365	21	13
三条	4	86.12	54	54	0	0
燕	4	67.60	25	29	1	4
加茂	4	77.75	31	29	5	-2
三条南	4	95.45	44	51	1	7
分水	4	83.47	29	31	2	2
見附	4	73.00	18	20	1	2
吉田	4	87.80	33	33	1	0
三条北	4	81.84	71	70	5	-1
巻	4	88.80	11	10	0	-1
田上あじさい	4	70.80	6	6	1	0
三条東	4	83.62	30	32	4	2

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	6月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	／	87.54	300	302	30	2
長岡	4	87.45	37	43	2	6
柏崎	4	89.90	47	47	0	0
長岡東	4	90.41	63	63	7	0
柏崎東	5	96.89	44	45	5	1
栃尾	3	79.03	25	22	0	-3
長岡西	4	85.80	44	43	5	-1
柏崎中央	4	83.30	40	39	11	-1
第6分区(6クラブ)	／	88.31	148	149	6	1
十日町	4	98.48	32	32	0	0
小千谷	4	86.53	38	40	3	2
雪国魚沼	4	79.00	21	20	1	-1
十日町北	4	96.73	22	23	1	1
津南	4	89.60	24	24	1	0
越後魚沼	4	79.52	11	10	0	-1
第7分区(9クラブ)	／	82.15	302	303	26	1
高田	4	97.66	58	53	0	-5
直江津	4	82.83	37	47	2	10
新井	4	82.50	29	29	3	0
糸魚川	4	73.03	36	38	2	2
妙高高原	0		4	0	0	-4
高田東	5	78.50	38	37	3	-1
糸魚川中央	4	77.34	33	33	0	0
頸北	4	90.50	15	15	1	0
越後春日山	4	74.87	52	51	15	-1

妙高高原RCは11月末で解散致しました。

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	1,990	人
6月末 会員数	2,027	人
女性会員数	144	人
純増減会員数	37	人
当月平均出席率	85.20	%



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2560



山崎ガバナーご夫妻 in 感謝の集い 2014.6.28



国際ロータリー第2560地区 山崎ガバナー事務所

〒959-2627 新潟県胎内市野中 490-3 新和ヒルズ 2F

Tel.0254-28-8822 FAX0254-28-8826

E-mail:k.yamazaki@rid2560niigata.jp